

現在完了形アレルギー克服に向けて

外国語学部 英語英文学科4年 池田 季穂

英語を学び始めて早9年。英語を学ぶことが大好きで、大学では英語英文学科に在籍し日々英語を学んでいる。そんな私だが、長い間どうしても理解できない文法事項があった。それは現在完了形についてである。このようなことをいうと、中学生で学ぶ文法事項も知らないの？と驚かれてしまいそうだが、もちろん私だって現在完了形の「形」つまり、have/has＋過去分詞という形だということは知っている。しかし、現在完了形って何？と聞かれると口ごもって、答えることができないのである。あえて、言葉にするのなら、「日本語にはない過去のようなのだが過去ではないもの、しかし現在形でもないもの」と、自分自身でも何を言っているのかよくわからないが、おぼろげにこのようなものだと考えていた。

中学校にあがるまで、自分の名前は「Eida」ではなく、「Eida」と書き間違えたり、誕生日会ごとに歌われるバースデーソングの、「Happy Birthday to You」の「to」の意味を知らずに歌を歌っていた私だが「英語」という教科にとっても関心があった。そのため、英語を習いたての頃は、授業で学んだ新しい単語を友人たちと会話の中に織り交ぜ、英語が使える気分になっていたものだ。特に「Please」はお気に入りだ。「ペン、プリーズ」と何かとプリーズを付けて会話を楽しんでいた。

しかし、徐々に内容は難しくなり、覚えなくてはならない文法事項や新出単語は数えきれないほどになり、楽しいだけではすまされない状況になっていった。理解力はあまりない私だが、妙なところが真面目な性格であるが故に、先生

の言ったことを一字一句ノートに書き写すという努力はしていた。今、考えるとおかしな話だが、英語の授業にも関らず、最も神経を使っていたのは先生が日本語訳を言う時である。勿論、生徒が日本語訳を発表することもあるが、先生の日本語訳が、「一番」正しい答えであると思っていた。そして、試験前になると、教科書、ノート、副教材として使われていたワークブックを全て覚え試験に臨んでいた。全てを暗記で乗りきっていたので、英語の成績は決して悪くはなかった。

しかし暗記だけでは、どうしてもわからない文法事項があった。それが、現在完了形である。先生は、過去と現在を表すために横線のタイムラインを作って、現在完了形を説明してくれた。その時に現在完了形というのは、「過去と現在を結ぶものである」とおっしゃっていたのを覚えている。そして、「現在完了形というのは、日本語にない文法表現だから、我々日本人にとっては理解しにくい」と続けられていた。当時の私は、先生の話を聞き、「日本語にない表現を学ぶなんて難しそう」という印象をもったことを覚えている。しかし、どんなに難しい内容であろうとも、覚えなくては点数をとることはできない。私は必死で日本語と英語を照らし

合わせながら試験に向けて暗記をした。だが、気合をいれて勉強しようと思えば思うほど私の頭の中は混乱していった。

その原因となったのが、英文和訳の作業であった。当時のノートを紐解き、その一部を抜粋しながら、混乱の原因を考えてみよう。

- I. 1) I have lived in this town since 1993.
(私はこの町に1993年から住んでいます。)
2) Have you studied it for a long time?
(あなたは、長い間それを勉強しているのですか。)
3) How long have you studied it?
(あなたはそれを何年勉強していますか。)

英文は教科書の会話文からの抜粋、その下が私のした和訳である。これを見ると、1)～3)の文末はすべて「～しているのです(か)」と訳しており、現在進行形 (be動詞＋ing) の訳と現在完了形の訳との区別がわからずにいた。そのため、「私はこの町に1993年から住んでいます」という日本語を英語にした場合には、「I am living in this town since 1993.」と誤った英文を書いてしまうことが多々あった。

II. 1) I have just read a book about it.

- (私は、ちょうどその本について読んでいた所です。)
2) Have you finished the book?
(あなたは本を読み終わりましたか。)
3) No, I haven't finished it yet. But I've already learnt some Korean greetings from it.
(いいえ、私はまだその本を読み終えていません。しかし、韓国、朝鮮語の挨拶は勉強しました。)

- III 1) My mother has visited Korea twice.
She has studied Korean for two years.
(私の母は韓国に二回行ったことがあります。彼女は韓国語を二年間勉強しました。)
2) Have you ever been to Korea?
(あなたは、今までに韓国に行ったことがあります。)
3) No, I've never been there.
(いいえ、私はそこへ一度も行ったことがありません。)
4) I've visited Seoul once.
(私はソウルに一度行ったことがあります。)

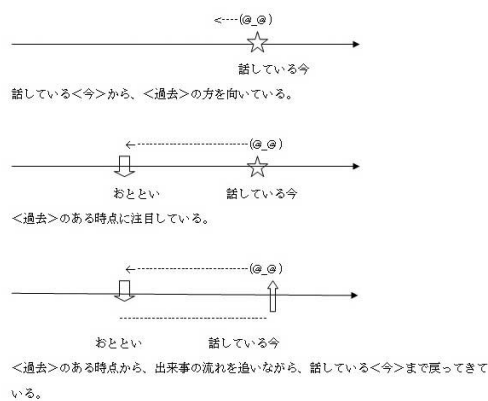
II・III に書かれている訳を見てみると、です・ます体と、である体の統一がなされていないということは抜きにして、「あなたは本を読み終わりましたか?」「私はソウルに一度行ったことがあります。」などのように、「終わった」「行った」と訳しており、訳語だけをみれば過去形との違いは何なのだろうか、という疑問を抱いた。もうお気づきかもしれないが、当時の私はいわゆる文法訳読式を中心に英語の学習を進めていたため、どうしても英語を日本語の訳に当てはめようと考えてしまっていたのだ。しかし、現在完了形の表現は日本語にはないのだ。このときを境に、私は現在完了形アレルギー患者の一人となった。

現在完了形についての確かな答えを得られないまま、高校時代、そして大学時代のほとんどを過ごした。このまま分らなくてもいい、むしろ避けて通れることならば分らずにいてもいい、と思っていた。しかし、英文学科の学生にも関らず現在完了が分らないというのは情けない、と思いなおし、私はこの夏、アレルギー克服に向け、重い腰を上げたのである。

治療方法として私がとった行動は、著名な文法書を読みあさることであった。文法を学ぶのは楽しい作業ではない、と思っていた私だが、

思っていたよりも楽しいものであった。食わず嫌いの食材を食べてみたら、実は美味しかった、そんな状況に少し似ているかもしれない。そして徐々にではあるが、現在完了形の本質に迫ることに成功した。

塙・石黒（2005）によると、「現在完了というのは、『今まで』と〈今〉」を考えるとときに



用いられる文法事項」だという。つまり、「過去のいきさつとつなげて、『今の状況』を述べること」にある。

そして、五島・織田（1993）によると「過去の動作・状態を、特定の過去での特定の動作と

してではなく、Point NOWに至る広い漠然とした過去の事柄として、現在の視点で確認することである」と書かれている。

さらに塙・石黒（2005）は分りやすく以下のような絵を使って説明をしている。

二つの書籍から分ったことは、すなわち現在完了というのは現在に視座をおいて過去をふり返る表現であり、「今現在、どのような状態にあるのか」ということが重要なのである。多くの人が過去と現在をつなぐ文法事項が現在完了形であると思っているが、実は「現在に視座がある」、という点が一番大事なのではないか。少なくとも私にとっては目から鱗が落ちる情報であり、この十文字にも満たない言葉を知っているのと知らないのでは天と地ほどの差があるといっても大げさではない。そして、このことが、日本語と英語の一对一の訳語で英語を学習することが実は混乱の原因になっていたことを示しているのだ。もう少し具体例を挙げてみよう。

- 1) I usually wear a school uniform.
 - 2) I have worn a school uniform since this morning.
- 上記のような二つの英文があるとしよう。1)

She has played tennis for two years.

Why does she look so hot? | Because she has just played tennis.

She has not played tennis yet.

という文を扱い、現在完了文が多くの場合、ともに使われる副詞（副詞句）の意味によって、その用法が決まることに気づいてもらえるように指導している。

そして、次の授業で聞くのだ。「現在完了って何？」と。答えられればアレルギー症状は克服したと考えていいだろう。

＊読者の中にアレルギー症状の疑いのある方がいましたら、同じように身近な例文をあげて処置を行ってみてください。想像以上に、よく治ります。診察を希望の方も歓迎します。土日・祭日は休診日ですが、その他の曜日は大学にいますから。

と③の違いは何であるかというと、③の現在完了形の文の方は「私は今朝から今まで制服を着ている」という直訳になる。しかし、これだけではよくわからないので、もう少し状況を説明すると、「私は今制服を着ている」。ではいつから制服を着ているのかというと、「朝から着ているんだよ」という説明になる。一方の②では「私は大抵制服を着ている」という「習慣」を表す表現になり、現在に重点はおかれていない。このように実に簡単な言葉で説明できてしまう。同じように過去形と現在完了形の文を比べてみると、

- 3) He broke his leg.
- 4) He has broken his leg.

④では、「ある時、彼は足を怪我し、そして今もその怪我が治っていない」という状況である。一方の③は、「彼は怪我をした」ということで、現在がどのような状況であるかについては触れていないのである。

自転車の補助輪なしが一度乗れば、次からスイスイと乗ってしまうのと同じように、これまでアレルギーを起こしていた現在完了形も自分のものにしてしまえば、なぜこのようなことが分らなかったのだろうかと思ってしまう。

◆参考

- ・『NEW CROWN ENGLISH SERIES, New Edition 3, 1997年度版』三省堂
- ・塙タカユキ・石黒昭博（2005）『総合英語 Forest [4th Edition]』桐原書店
- ・五島忠久・織田稔（1993）『英語科教育基礎と臨床』研究社
- ・中学生当時の自身のノート

私は現在、学習塾でアルバイトをしており、中学生や高校生に英語を教えているが、ここにも私と同じような現在完了形アレルギー患者がいる。その生徒たちは、「現在完了形が分らないよー」といって私のもとに駆け込んでくる。そんなとき、私は、生徒に分かりやすい例文を用いて、とても簡単な治療を行う。

以下は、タイムラインを使いながら、現在完了形の継続用法を用いて説明した一例である。

さらに、現在完了は一つである、という考えを教えるためには、Keiko has played tennis,という基本文を使う。

Keiko has played tennis before.

